

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025 年 9 月期調査結果（2025 年 10 月発表分）

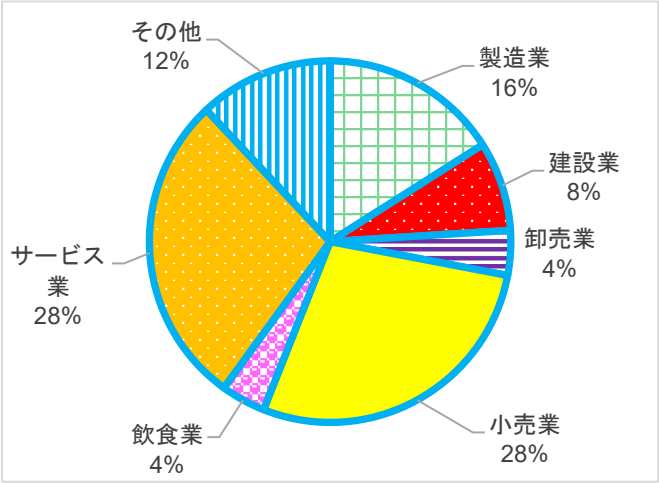
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2025 年度景気ウォッチャー調査員（64 名）を対象に、WEB アンケート調査を行いました。

回答者数は 25 名（回答率は 39.0%）

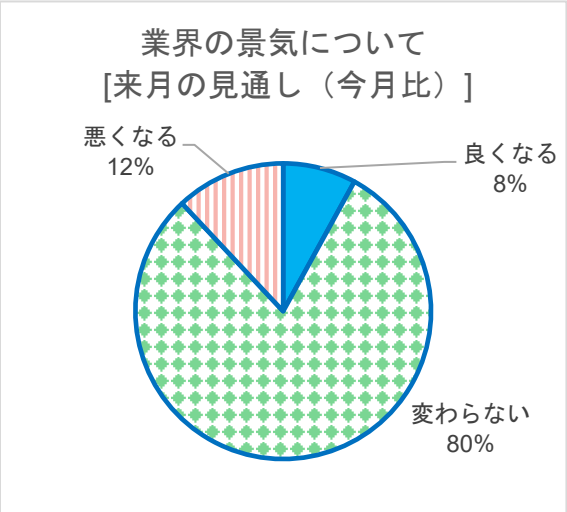
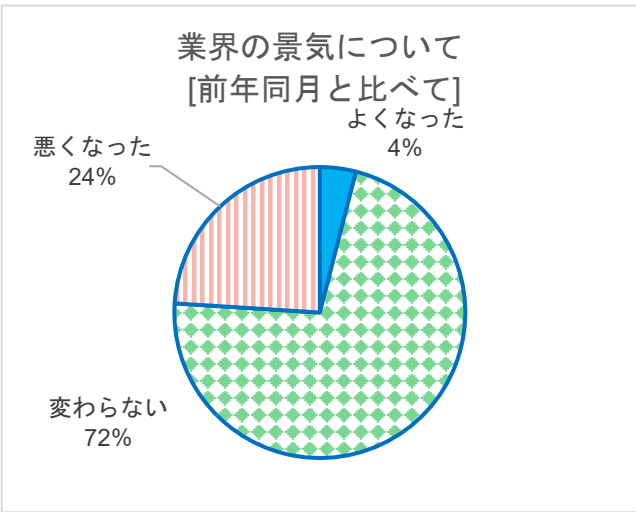
業種	回答者数	構成比
製造業	4	16.0%
建設業	2	8.0%
卸売業	1	4.0%
小売業	7	28.0%
飲食業	1	4.0%
サービス業	7	28.0%
その他	3	12.0%
計	25	100%



調査結果のポイント

< 景況 >

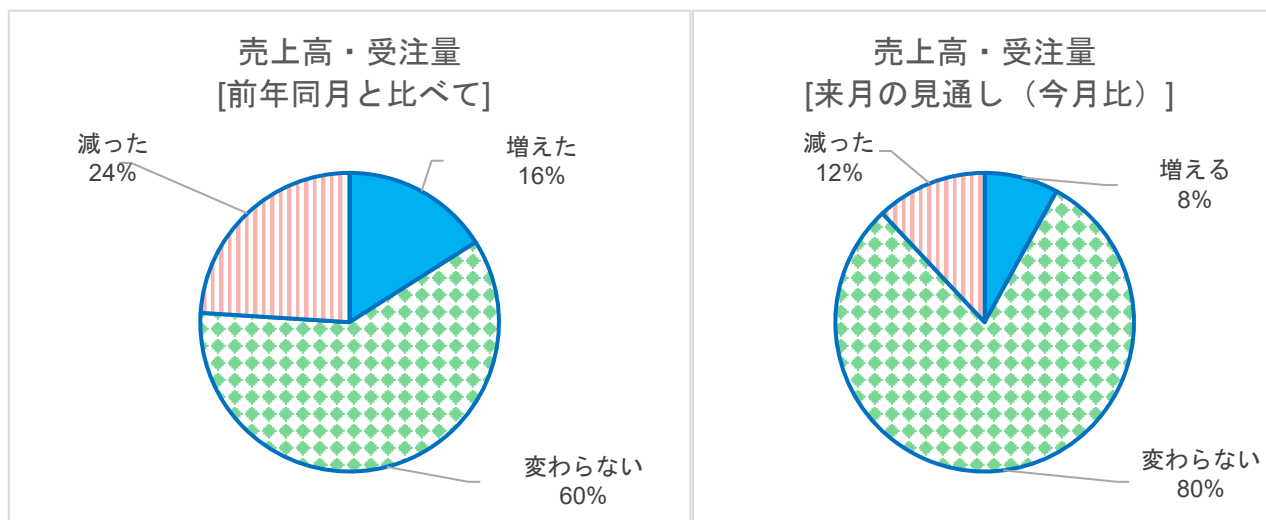
- ・ 2025 年 8 月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が 4.0%、「変わらない」が 72.0%、「悪くなった」が 24.0%となりました。
- ・ 2025 年 9 月以降の見通しについて、前月と比較して、「よくなる」が 8.0%、「変わらない」が 80.0%、「悪くなる」が 12.0%となりました。



<売上高・受注>

・2025 年 8 月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が 16.0%、「変わらない」が 60.0%、「減った」が 24.0%となりました。

・2025 年 9 月以降の見通しについて、前月と比較して、「増える」が 8.0%、「変わらない」が 80.0%、「減る」が 12.0%となりました。



【景気動向 DI (毎月版)】

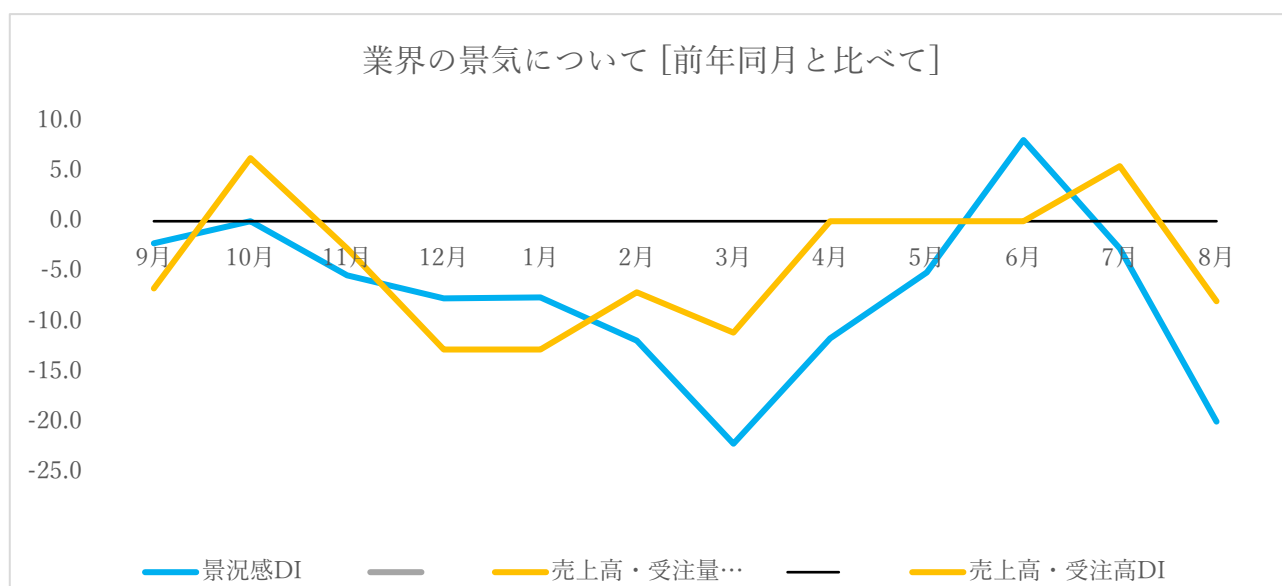
<概要>

景気ウォッチャー調査員 64 名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高の DI 値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

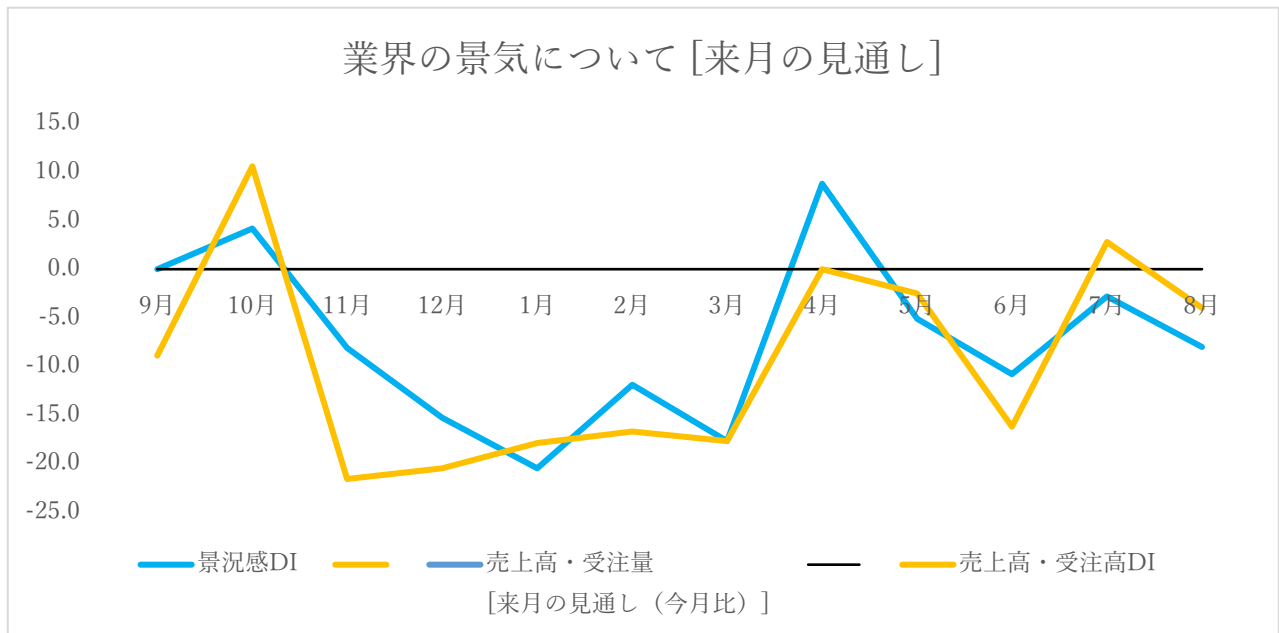
⇒0 より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024 年 9 月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9	-22.2	-11.7	-5.1	8.1	-2.7	-20.0
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高・受注高DI	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1	-11.1	0.0	0.0	0.0	5.5	-8.0

2024 年 8 月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について
[来月の見通し(今月比)]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
景況感DI	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9	-17.7	8.8	-5.1	-10.8	-2.8	-8.0

売上高・受注量
[来月の見通し(今月比)]

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高・受注高DI	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7	-17.7	0.0	-2.5	-16.2	2.8	-4.0

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
税理士	人手不足、なり手不足。
警備業	警備業界では、10月1日からの最低賃金アップに向けて、すでに請け負っている元請会社との請負金額の交渉に取り組みが始まった。。
社会保険労務士	windows10 のサポート終了が迫るので、買い替えるか？それとも1年延長できるのか？まだどうするか決められない。
サッシ・ドア(製)	弊社は建設業だが土地柄車産業に影響される。スズキやトヨタの工場設備などの仕事が多い。関税などの影響で仕事が急激に増えたり、逆に飛んだりする。もっと長期的な計画性のある受注が理想。
家庭電化製品(販)	蛍光灯が2027年に生産終了についてのお客様の理解は進んで来ましたが、エアコンの2027年問題については、お客様も販売店も理解が進んでいない。
事業協同組合(石油)	8月のガソリン販売量は、前年に比べやや減少した。前年の南海トラフ地震臨時情報による仮需の反動減が主因。現在議論されているガソリンの旧暫定税率廃止等の今後の動向を注視していく必要がある。
事業協同組合(鉄)	異常気象（高温）が続いており、工場の屋根、外壁、エアコン対策も費用を含め大変である。従業員の健康問題も含めて。
事業協同組合(ものづくり)	EV自動車市場も他国との競争が激化してきていることから、今まで以上にEV化が進む可能性があり、その対応をしていかなければならない。
梱包資材(卸)	仕入先の人材不足が影響し、スピーディーな回答を受けられず受注を逃すことがある。自社だけではなく仕入先の人材不足が影響することは想定していなかったので頭を抱えている。

業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
梱包資材(卸)	①物価高騰・円安の影響を強く感じます。
税理士	①物価高騰と人件費高騰が売上に転嫁できない
税理士	①物価高騰により、経営が思うようにいかず、廃業した企業が2件出ました。
楽器(製)	①物価高騰はあいかわらずで、いまだに仕入れる度に上がっていく感じでいい状態ではない。
社会保険労務士	②人材不足と従業員の高齢化が大きな課題。従業員の間層に対して、時には引き抜きと思われるケースが散見される。
社会保険労務士	②最低賃金大幅引上げで人手不足・人材確保はより厳しくなるだろう。時期は例年より1月遅らせるようだが、それでどうにかなるというのか。
警備業	③建設業界の進むデジタル化により、付帯業界の警備業界もデジタル化へ早い取組が求められている。
事業協同組合(機械)	④米国への自動車関税引き下げが実施されたことへの期待感はあるが、実質利益喪失はかわらないため今後の推移を注視している。
事業協同組合(鉄)	④関税問題が今後さらに影響を及ぼす懸念もあり、売り上げの不透明感が強い。国内の食料品の値上げが生活費のやりくりに苦労している。引き続き従業員の人手不足の状態は続いている。
木製品(製)	④トランプ関税によりデミニミス措置が終了したためアメリカの個人消費者からの越境 EC による注文が減少する可能性がある。

以 上